

2024 明治安田 J3 リーグ 第 1 節
2/24 (土) 15:00 kick off
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

today's guest

福島ユナイテッド

順位表 開幕前

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

大宮 ※J2から降格
金沢 ※J2から降格
富山
今治
奈良
鳥取
八戸
岐阜
松本
岩手
FC大阪
YS横浜
沼津
長野
福島
讃岐
琉球
相模原
宮崎
北九州

次回HomeGame

第 3 節 vs.カマタマーレ讃岐

3/10(日) 15:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）
年中無休 午後 3 時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩 3 分。
休:月曜日

今日もここから
串かつで一杯

煮込み珍道中
串かつ

14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)

※売り切れ次第、終了です

<定休日:日曜・祝日>

TEL. 058-252-1580

忠節橋
通り

JR 岐阜駅
北口より
北西方面へ
徒歩約 10 分

★

アミカ

ドーミー
イン

JR
岐阜駅

通算対戦成績	全 8 試合 (J3: 8 試合) 岐阜 4 勝 / 福島 3 勝 / 1 分け Jリーグ岐阜ホーム戦: 0 勝 1 分 3 敗			
直近の対戦結果	2023/10/01 岐阜 0-1 福島 J3-29 節 @ 長良川			
ここ 3 試合の 公式戦の 結果	岐阜	2023/12/02 J3-38 節 @ 長良川 岐阜 0-1 北九州 2023/11/25 J3-37 節 @ タビスタ 琉球 0-1 岐阜 2023/11/19 J3-36 節 @ いわスタ 岩手 2-1 岐阜	福島	2023/12/02 J3-38 節 @ どうスタ 福島 0-0 琉球 2023/11/26 J3-37 節 @ ミクスタ 北九州 1-2 福島 2023/11/19 J3-36 節 @ どうスタ 福島 4-1 愛媛

●今年もまた、僕らの街に Jリーグが帰ってくる。残念ながら、今季も 5 季目となる J3 リーグ。それでも、開幕を迎えるに際しての大きな期待と喜びそしてわずかな不安は、どのカテゴリーにあっても変わらないものだろう。

昨季の FC 岐阜は、一昨季の反省から若手中心の補強を行い、上野優作監督ほかスタッフも刷新。『J3 優勝・J2 昇格』という目標を掲げつつも、新たな“FC 岐阜のサッカー”を構築するための基礎固めの 1 シーズンと位置づけた。昨季の最終順位は 14 勝 12 分 12 敗で 8 位。総失点 35 (1 試合平均 0.92) はリーグ 2 位だが、総得点 44 (1 試合平均 1.16) はリーグ 13 位。やはり、慢性的な得点力不足のために、勝ち切ることが出来ない試合が多かったことが影響した結果と言わざるを得ない。そして今季は、上野監督 2 年目体制で更なる飛躍を目指す FC 岐阜。しかし、昨季の 26 ゴールを、出場時間では約 44% を占める、計 13 名の選手たちがチームを離れることとなったため、再び選手層を大きく入れ替えることに。今季も獲得した選手は 20 歳代ばかり、しかし大卒選手は 1 名のみで、他チームで活躍した選手を中心に補強。これにより、平均年齢 25.6 歳 (昨季 26.8 歳)、1 月 1 日現在で 30 歳代の選手は #10 庄司悦大だけという、さらに若返ったチームになった。

2024 シーズンの J3 は、上位 2 チームの自動昇格のほか、今季から 3 位 ~ 6 位による『J2 昇格プレーオフ』が実施される。これまで J1 チームだけで開催されていたルヴァン杯も、Jリーグ全クラブが参加するトーナメント制となる (岐阜の 1 回戦は 3/13・長良川で大宮戦)。ここに天皇杯 (例年通りだと、FC 岐阜は県代表決定戦から出場) が加わることで、今季は昨季よりも過密日程になることが想定される。カテゴリーの異なるチームとの戦い方など、チームのマネジメントや総合力が大きく問われるシーズンとなるだろう。とはいえ、最重要視するべきなのは当然ながらリーグ戦だ。今季こそ『J3 優勝・J2 昇格』の目標を実現するべく、まずは開幕戦、しかもホーム・長良川での開幕戦で、しっかりと勝利を掴み取って欲しいところだ。

さて、その開幕戦での対戦相手は福島ユナイテッド FC だ。昨季は、岐阜 (12 ~ 13 年) を最後に現役引退した、服部年宏監督が成績不振で 7 月に退任して依田光正監督に交替。しかし最終順位は 15 位に終わり、依田監督も退任。そして今季は、新監督に寺田周平氏を招聘。昨年 7 月にテクニカルダイレクターに就任した関塚隆氏が、川崎の監督だった際の中心選手で、これまで川崎で指導歴を積み、直近はトップチームコーチだった人物だ。監督としては初采配になるが、2/18 (日) に PSM で J2・いわきと対戦して 2-2 で引き分けており、その手腕には十分に警戒すべきだろう。

福島との通算対戦は、岐阜の 4 勝 1 分 3 敗・9 得点 9 失点。そしてホーム戦では、なんと 1 分 3 敗・2 得点 8 失点と全く勝利できていない。また、J3 での開幕戦の岐阜は 4 試合連続ドロー。相性の悪い相手に今季はしっかりと打ち勝って、幸先の良いスタートを切るために、非常に大事な試合だ。

福島も監督や選手が入れ替わっているため、どのようなスタメンになるのか予想しにくいだが、要注意選手としては、昨季 5 得点の #7 塩浜遼を挙げる。また、チーム最古参 9 年目となる #40 樋口寛規は、岐阜にも在籍 (12 ~ 13 年) した選手。昨季も途中出場が多かったが、それでも 5 得点だ。そして、今季から福島は川崎と業務提携を締結、川崎で昨季にトップ昇格した #3 松長根悠仁と #14 大関友翔が育成型期限付移籍で加入するなど、岐阜と同様に若手選手の活躍にも警戒しなくてはならないだろう。一方の岐阜では、大卒で 17 年に福島に加入した #40 川上竜が、昨季と同様に堅守の柱となる活躍に期待したい。

数ヶ月のオフシーズンを経て、再びスタジアムに歓声が戻ってくる。このホーム・長良川で、僕ら岐阜サポーターがスタジアムを緑に染めて、声援や歓声、拍手・鳴り物の音をスタジアムに響かせる、そういった日々が戻ってくる。その日常が当たり前でないことを改めて噛みしめながら、それでも全力で楽しもう。そして試合後には、全力で戦い抜いた岐阜の選手たちと、勝利の喜びを分かち合おう。さあ、一喜一憂する全 38 試合・2024 年 J3 リーグの開幕だ。(ささたく)

投稿募集 !! gidaidohri@gmail.com

【PSM】 岐阜 1-2 名古屋

●何シーズンぶりの PSM 観戦。

岐阜で印象に残った選手はガイナレ鳥取から来た文仁住(ムン・インジュ)。激しい上下動を繰り返してたしスタミナもありそう。複数ポジションにも対応できそうで。先制ゴール決めた河波櫻土(かわなみ・おうじ)サガン鳥栖からレンタル移籍)。ゴール決めた後 PSM とは思えない喜び方してたけど、怪我明けだしリハビリ兼ねての岐阜移籍だと思うので、今年にかかる意気込みはかなりのものだろうなと。あと出場時間は短かったけど、東京ヴェルディからレンタル移籍で来た西谷亮(にしたに・りょう)。推進力のありそうなボランチって感じ。右サイドに入った石田峻真(いしだ・りょうま、いわてグルージャ盛岡から移籍)もスピードある動きだった。なんか新加入組ばかり印象に残ってしまったが(笑)。

反対に残念だったのは上野輝人。何がしかのミッションを授かって投入されているはずなのに、ボールを受けても自ら仕掛けるでもなく周囲と連携するでもなく、ひたすらバックパスの繰り返し。対面してる DF も、まったく脅威を感じなかったことであろう。ちょっとガッカリなプレーぶりであった。名古屋は岐阜以上にお試し感が強かった感じ。その中でも山中亮輔は精度の高いクロス等でチャンスに絡むケースも多かったかな。元岐阜の山岸祐也を怪我でプレーが見れなかったのは残念。さて開幕まで 2 週間。どんな感じで仕上がっていきますやら。(岐阜の誇り)。

●J1・名古屋との PSM。公式戦としては(J2での)2017 年以来、PSM としては 2015 年以来なんだとか。そんなに経ってたのかという軽い驚きと共に、今季は必然なのかなあと思ったりも。だって名古屋さん、今年も 11 月に WRC の日本開催で豊田スタジアムの芝生を剥がすみたいで、今季も終盤にアウェイ連戦で、11/30(土)のホーム最終戦が『会場未定』なんですよ(苦笑)。

さて、気になる岐阜のスタメンは……両ウイングを誰にするかは分からなかったけれど、それ以外はほぼ想定どおり。昨季からのメンバーに、両 SB は前クラブでレギュラーだった 2 人を充て、CB に #4 カイケン。サブは新加入選手が多くて、途中交代で試してみる雰囲気。

さて、キックオフ直後から岐阜が一気に攻勢をかける。右 SB の #5 石田峻真と左 SB の #22 文仁柱の運動量が実に素晴らしい。また、左右のウイング……というよりは、インサイドハーフに起用された #7 河波櫻土と #8 荒木大吾が、これまでよりも内側に絞っていることで、その外のレーンを両 SB が使いやすくなっていたと思う。また 2 ボランチの前のスペースを 2 人が埋めて、2 トップとの距離が近くなるので、セカンドボールが拾えるようになり、また 2 トップとの連携も昨季より良くなったように思えた。絶好のチャンスを名古屋 GK #1 ランゲラックに防がれたけれど、直後の CK を #6 北龍磨が蹴ると、これを #7 河波がヘッドで押し込んで前半 14 分に岐阜が先制!鳥栖でのルーキーイヤーを怪我で苦しみ、今季は期限付き移籍で結果に飢えている選手が、PSM とはいえ得点を挙げる事ができたのは、本当に良かった。それと、セットプレーで得点できたことも(苦笑)。だけど、このまま終わるはずもなく。いきなり前半 22 分に名古屋が CB 1 人を交替して修正すると、前半 32 分には同点ゴール。ほんの少し、ボールを待った隙に奪われて即座に決められてしまった。18 分間だけでしたが、いい夢みさせてもらいました(苦笑)。後半 8 分の逆転ゴールも、自陣右サイドでの混戦を抜けられて、中央にふわりと上がったボールを胸トラップ、そのままシュート。攻守どちらのゴール前の混戦状態でも、冷静にプレーを選択できる判断力と、そのプレーを実行できる技術力は、さすが J1。逆に、ウチも何度かチャンスを作れたけれど、冷静に対処されたり、あるいはプレーの精度が悪くて決められなかった。この点は課題としてリーグ戦に活かされると信じている。それと個人的に印象的だったのは、途中で GK が

#31 上田智輝に交替したこと。今季は #1 茂木秀が守護神固定かなーと思ってたんですが、いやいや、昨季 J2 藤枝で 16 試合出場してたのは伊達じゃない。キックの精度は #1 モギシューより上かも?これは守護神争いも激しくなりそうだ。まあ、試合には負けちゃったんですが、面白いサッカーが見られて楽しめました。まあ PSM だし、この借りはルヴァン杯の 2 回戦で晴らしちゃる(笑)。ところで、今回はホットスタッフさんがマッチスポンサーになって『名岐ダービー』じゃなくて『名岐カップ』と呼称。ずいぶんと立派なカップを用意していただいたんですが、これって「来季以降も続けるよ」って意味でよろしいんでしょうか。そうでしたら、『ちばぎんカップ』のような PSM になってほしいものです。(ささたく)

●久々のプレシーズン・マッチ。ちょっと小用もあって開場には間に合いそうもなく、混雑するんだろうなあ……と考え、スタグルはスルー。その分、開幕戦で食べまくる所存。いや、言うほど食べられないと思うけど(苦笑)。観戦は久々のバクスタ。木村さん時代以来かな?入場だけはスタンド下から入れてくれたんで、それならと国際会議場で路線バスを下車。いつかは、この入場口が常設となる日が来るのかな?目標?の 1 万人には届かなかったが、そのおかげか、自分の周りは空いていて観戦には絶好の状態。終了までじっくりと楽しませていただきました。

結果は 1-2。初代の【ホット・スタッフ杯王者】にはなれなかったのは残念だ。何とというか、ゴール前までは行けるんだけどね、フィニッシュがね。でも、アレがカテゴリーの差、ってヤツかな?さすがはオリテン様でした。

そんな中での先制点。オーズの喜び様がハンパなかった。まあ、リハビリとかが長かったからね。今季の活躍を祈ってますよ!その後も惜しいのがあったけど、おっと、ソコはミッチーだ……ってセービング。勢いのあるうちに追加点が欲しかったかな?早めの交替から流れを握られ同点に。それ以降はグランプスの優勢が続き、逆転されてゲームセット。それでも、見せ場は随所に。特に、印象に残ったのが両 SB。とりわけ、文仁柱。コレは掘り出し物なんじゃないでしょうか?鳥取戦で出てたよなあ、ぐらいいし記憶がないのはごめんさいけど。替えの効かない存在になってくれそうな予感。それと、2 トップ。ヒロとコースケのコンビは、こちらも胸熱な感じしかない。楽しみだね。

開幕を翌週に控えた某日某所で、社長とお話できる機会を得た。その際、特にこの選手に期待していると一人挙げてくださったので、「だとすると、先日の PSM、かなり、不満が残ったのではないですか?」と振ったら、「全くです。」とのお返事。ビハインド、PSM。何も失うモノがない場面での消極的な姿勢を気にする意見は試合後にも散見された。あえて、名前は書かないけれど、「そんなもんじゃないだろ!」とゲキを飛ばしておく。魅せてくれるよね?○○○ケン!(ぐん)

●トーマ&リョウくんの両翼が抜かれた割には、ちゃんと攻撃出来てるじゃん、という印象。特筆は河波。スピードよく前に出て、そこでボールを受けて起点になる。将棋で喩えると、「香車が敵陣で成香になる」という感じ。昨年まではポンと飛び出した先で決着つけるしか策がなかったのだけど、起点が出来ると厚い攻撃が出来る。周囲を活かすのがうまいヤマヒロとで「起点が 2 つ」。昨年の「FW が 2 人いるけど『1 トップが 2 人いる』ってだけ」の攻撃とは違うね。ワクワクする。DF も 4 人中 3 人が新(&再)加入。注目左の文仁柱。安定感ありそう。コンビネーションが磨ければかなりの戦力。北朝鮮代表合宿にも呼ばれたので、もしかしたら 3 月の W 杯予選ではサムライブルーの前に立ちはだかるかも。いいところばかりじゃなかったのは、途中交代で入ったアキト。うーん……ビハインドで、PSM だから追加点を奪われても大きな問題にならない局面で、あれだけ推進力のないプレーを見せられてしまうとね。意識改革が必要か。ま、向こうは向こうで実戦でわかる問題点も把握できたでしょうし、いい PSM だったんじゃないかと。(吉田铸造)